

体育理論の授業展開例

●本時のねらい、目標、キーワードなど ※生徒にわかりやすい表現

<知識及び技能> <思考力、判断力、表現力等> <学びに向かう力、人間性等>	} その日に指導する内容やねらい・観点の内容 ※生徒に掲示するのは分かりやすい表現にする
--	---

●本時の展開例 ※質問を用いた授業パターン 様式は佐藤方式

段階	学習内容と学習活動	教師の指導・支援	評価の方法・観点
はじめ	○本時のねらい、キーワード、流れの提示と説明を記載		評価の方法 (観察や学習カード)
なか	○前回の学習内容の復習や本時の学習に関する質問 ○予想される回答 ・個人及びグループでの活動 調べ学習や話し合いなど ○課題の設定(本時のねらい) ○新たな知識の学習 ○新たな知識を活用した本時のねらいや目標への質問や支援等 ○今までの知識と新たな知識を活用した課題解決のための活動 ○新たな知識を活用した将来の健康行動を思考・判断・表現活動	最初の質問 質問時の注意 今持っている知識や経験で答える 最初の質問 振り返りの質問 新たな知識を活用して理解しようとしているか 新たな知識 振り返りの質問 新たな知識を活用して課題解決や理解をしようとしているか 新たな課題	メタ認知能力 メタ認知能力について(奈良教育大学) ・メタ認知とその働き メタ認知の「メタ」とは「高次の」という意味です。 つまり、認知(知覚、記憶、学習、言語思考など)することを、より高い視点から認知するという事です。
おわり	○本時のねらい等の振り返り ○次の学習に向けての課題等の整理	○本時のねらい等に関する講評 ○次回の内容説明	